

# RPSJ NETWORK

日本鉄道保存協会 会報

Railway Preservation Society of Japan

2016年5月号

## 「何よりもまず現場に足を運ぶこと」

小池 滋 (顧問/英文学者・東京都立大学名誉教授)

2015年10月に保存鉄道国際会議が日本で開かれ、海外からも多くの方が参加されて、無事終了しました。実現のためにご尽力下さった皆さまに、厚く御礼を申し上げます。

鉄道保存という仕事は、とにかく人が現場に足を運んで、現物に手を触れなくては、話になりません。活字・画像・音声などの伝達機能がどんなに進歩しても、この作業では限界があります。

それを理屈ではなく、体験によって知っている人だからこそ、わざわざ遠くから足を運んでシンポジウムや見学会に参加してくれたのです。

これが成功したのですから、近い将来に海外のどこかで、同じような企画がなされ、当然のことながら日本に参加の要請がなされるでしょう。私よりもっと若い世代の方に、その際大いに活躍して下さるようお願いしたい。何よりもまず現場に足を運ぶことが大事なのです。

## 世界保存鉄道協会総会 (WATTRAIN2015) を終えて

菅 建彦 (代表幹事団体・公益財団法人交通協力会会長)

世界鉄道保存協会 (WATTRAIN = World Association of Tourist Trams and Trains) の第2回総会は、昨年10月24日(土)から31日(土)にかけて、さいたま市と東京における2日間の会議、真岡鐵道、JR東日本大宮総合車両センター、東武博物館への訪問、さらに大井川鐵道、リニア鐵道館、博物館明治村、嵯峨野觀光鐵道、保津川下り、金閣寺と龍安

寺などの見学を含む全行程を終了しました。さらに、広島電鉄、SLやまぐち号、津山機関車庫、片上鐵道を訪問するツアーにも大勢が参加して、11月3日(火)の夕刻、大阪で全行程を終えました。海外からの参加者はイギリス、イタリア、スウェーデン、ドイツ、アメリカ、アルゼンチン、オーストリアの各国から同伴者を含めて36名でした。



ファアウェル・パーティーとなったホテルグランヴィア京都での最後の記念撮影。前列中央がモーガン会長ご夫妻、向かってその左が交通協力会菅会長、右がJR西日本倉坂広報部長。WATTRAINの皆さん是非また日本においでください。'15.10.30

総会は10月24日(土)と26日(月)の両日、Sustainability(持続性)というテーマのもとで各国代表の報告と討論が行われました。日本からは、私が日本の鉄道保存活動の歴史を簡単に紹介し、陸別町商工会の杉本武勝さん、大井川鐵道の石川寛之さん、片上鉄道保存会の森岡誠治・直子夫妻に活動状況を報告していただきました。

総会終了後の10月26日午後、日本鉄道保存協会総会出席者が全員参加して、東京ステーションコンファレンスで国際シンポジウムを開催しました。WATTRAIN会長のデイビッド・モーガン氏と私が司会を務め、日本鉄道保存協会の米山淳一さんのほか、イギリス、イタリア、オーストラリア、アルゼンチンの代表が壇上にのぼり、各国の保存活動の現況を報告したのち、保存鉄道に関する法制や政府の規制、技術継承、ボランティアの役割などの問題について、討論しました。終了

後は合同夕食会を開き、大いに交流を深めました。

病気のため途中で帰国する人、突然旅程を変える人、強行軍のため体調を崩す人、ホテルに忘れ物をする人などが続出しましたが、日本旅行の臨機応変の手配と、同行の通訳ガイドとツアーコンダクターの献身的な奮闘のおかげで切り抜けることができました。ここに深く謝意を表します。

会場となった東日本鉄道文化財団(鉄道博物館)、訪問先の真岡鐵道、JR東日本(大宮総合車両センター)、東武博物館、大井川鐵道、JR東海(リニア鉄道館)、博物館明治村、JR西日本(嵯峨野観光鉄道、SLやまぐち号、津山機関車庫)、広島電鉄、片上鉄道保存会の各会員団体のご協力に心からお礼申し上げます。また、JR東日本、JR東海、JR西日本、東武鐵道の各社から多大のご支援を賜りました。ここに記して謝意を表します。

## 日本鉄道保存協会総会 + WATTRAIN日本大会 写真ダイジェスト

写真：名取紀之 / 米山淳一



またとない好天に恵まれた「SLキューロク館」前で記念写真に収まるWATTRAINメンバー。圧縮空気で動く9600一同感動。'15.10.25 真岡



今回の国際会議のために用意された英文の抽象ストラクチャーやクレデンシャルカード類。



英語、スペイン語、日本語の同時通訳が入った会場は、ドメスティックな会議とはまったく異なるシビアさが印象的だった。'15.10.24 鉄道博物館



東武鐵道と東武博物館のご厚意で大宮～東向島間に8111Fの特別列車を仕立ていただいた。歓迎の横断幕にも感激！ '15.10.27 大宮



東京ステーションコンファレンスで行われた公開シンポジウム「鉄道遺産の保存と活用」。公益財団法人交通協力会と日本鉄道保存協会の共催で開催。'15.10.26

# WATTRAIN日本大会 日程

10月23日(金) 日本鉄道保存協会主催 歓迎夕食会  
大宮パレスホテル

10月24日(土) 世界会議初日 モーガン氏、菅彦氏の開会挨拶  
イギリス、アメリカ、イタリア、アルゼンチン等から発表。  
日本からは大井川鐵道 石川寛之氏がC11190号の復活等を発表

10月25日(日) 真岡鐵道真岡駅構内見学と蒸気列車に乗車  
益子町を探索後、浜田庄司記念館を見学

10月26日(月) 午前中はWATTRAIN会議(於:東京ステーションコンファレンス)  
オーストラリア、イギリス等から発表。  
日本からは、りくべつ鐵道、片上鐵道保存会が発表  
日本鐵道保存協会平成27年度総会を開催  
昼食会は、WATTRAINと日本鐵道保存協会が交流  
午後はWATTRAINと日本鐵道保存協会合同シンポジウム モーガン氏、

菅彦氏が司会を務める  
パネリスト=イギリス・イアンリー氏、オーストラリア・クライブ モアー氏、アルゼンチン・ガブリエラ女士  
日本・米山淳一  
夕食は、銀座ライオンでWATTRAINと日本鐵道保存協会合同の交流会を開催 後藤 泉さんのピアノ演奏

10月27日(火) 午前中はJR東日本大宮車両所を見学  
終了後 東武大宮駅から8000系動態保存車で東武博物館へ。見学後スカイツリー展望台

10月28日(水) 新幹線で静岡へ  
大井川鐵道新金谷駅構内を見学後、「川根路号」に乗車し千頭へ  
千頭駅構内転車台等を見学  
夕食は、JR東海主催交流会

10月29日(木) 午前JR東海リニア鐵道館を見学  
天野満宏館長挨拶  
午後 博物館明治村を見学 復活した2両の歴史的蒸気機関車牽引の列車に乗る

10月30日(金) 午前 嵯峨野觀光鐵道に乗車と保津

川下り  
午後 京都市内観光 金閣寺、龍安寺ほか  
JR西日本主催 フェアウェルパーティー

●(オプションツアー)  
10月31日(土) 午後 新幹線で広島に移動  
平和記念公園を見学

11月 1日(日) 新山口駅からSLやまぐち号に乗車し津和野へ 津和野町見学

11月 2日(月) 広島電鉄に乗車し千田車庫を見学  
千田車庫から宮島口まで乗車  
JRフェリーで宮島見学

11月 3日(火) 午前 JR西日本津山機関車庫、城東の町並み見学  
午後 片上鐵道保存会の活動を見学と交流

11月 3日(火) 解散

約2週間に及ぶ会議と見学会は無事終了いたしました。格別のご支援を賜りました公益財団法人 交通協力会(会長 菅彦)、ご協賛くださったJR東日本、JR東海、JR西日本、東武鐵道に心よりお礼申し上げます。

※このほかにも多くの写真をホームページ上(<http://www.rpsj.jp/2015houkoku.html>)にアップしていますのでご覧ください。



行程中は連日見事な好天に恵まれた。大井川鐵道でも心づくしの横断幕を広げて千頭の転車台で記念撮影。'15.10.28 千頭

嵯峨野觀光鐵道西田社長を交えて全員で記念撮影。紅葉には少々早かったが、このち保津川下りも体験。  
'15.10.30  
トロッコ嵯峨



SLやまぐち号。本格的な蒸気列車に車内は大盛り上がり。  
'15.11.1



博物館明治村にて。復活した12号にため息。'15.10.29



広島電鉄千田車庫を見学。広島駅前から原爆被災電車653号を貸切乗車。'15.11.2



片上鐵道を訪問。ボランティアのみなさんが大活躍。  
'15.11.3



JR西日本津山機関車庫を訪問。DF50形をバックに記念撮影。'15.11.3

# WATTRAIN 2015に参加して

大井川鐵道株式会社 鐵道部：石川寛之

この度WATTRAIN2015に初めて参加させていただきましたが、非常に強く印象に残ったことがあります。

世界各国の参加者の皆さんが本気で鐵道の保存を考えていること。鐵道の車両のみならず、関係する建物や環境問題まで有りとあらゆる面から鐵道の保存を考え真剣に取り組んでいることです。

日本国内では博物館として成り立っている場所は観光地としての要素もあり、賑わいを見せています。それに引き比べ、小規模なボランティア活動等での鐵道保存についてはまだまだ広く認知されていない傾向が感じられます。趣味の延長線上くらいの軽い見方しかされず、興味のない方々からの理解度は薄いようです。しかし、実際にはその活動は大変貴重なことで、鐵道の根源を未来に伝え、これからの鐵道の飛躍に大きく寄与することであると感じました。

一人でも多くの方々にこうした活動に興味を持っていただけるよう、私たちが新しいアイデアを考え努力したいと考えています。



▲鐵道博物館で大井川鐵道の動態保存の現状をプレゼンテーションする鐵道部石川次長。  
'15.10.24 鐵道博物館  
▶新金谷の車両区を見学するWATTRAINメンバー。新金谷では前田忍社長自らが迎えてくれた。'15.10.28 新金谷



## リニア・鐵道館をご覧いただいて

JR東海 リニア・鐵道館



▲リニア・鐵道館の迫力ある展示に見入るWATTRAINメンバー。'15.10.29  
◀JR東海主催のレセプションで英語で挨拶される天野館長。'15.10.29

リニア・鐵道館では、平成27年10月29日(木)朝、WATTRAINの会員の皆様をお迎えし、ご視察いただきました。それに先立つ10月28日(水)夜、名古屋マリオットアソシアホテルにて、弊社主催のレセプションを行いました。

レセプションの席では、弊社執行役員の江尻広報部長が挨拶を行い、その後WATTRAIN会長のDavid Morgan様にスピーチを頂戴しました。David Morgan様は、日本の高速鐵道技術に敬意を表しながらも、「超電導リニアの次は是非蒸気機關車を作ってほしい」とおっしゃって、会場を沸かせていました。レセプションの最後にリニア・鐵道館の天野館長より館の概要や翌日の予定などについて紹介しました。

翌日の視察では、英会話のできる弊館社員2名による館内のガイドツアーを行いました。弊館では、東海道新幹線を中心に在来線から超電導リニアまでの高速鐵道技術の進歩を紹介していますので、WATTRAINの会員の皆様には少し興味の方向性の異なる展示かと思いましたが、とても熱心に展示車両などをご覧いただきました。特に、超電導リニアの技術や鐵道ジオラマなどには、関心を持っていただいたと感じました。

ご案内などの際に、数名の会員の方々とお話しをする機会がありましたが、皆様、保存鐵道に対する強い情熱をお持ちで、私たちにとっても、いい刺激となる2日間でした。

**RPSJ**  
information

## ■2016年度総会の開催について

事務局

2016年度の総会は博物館明治村での開催を予定しております。車両の老朽化等により、実に5年におよぶ運休を経て復活を果たした蒸気機關車9号と12号、そして京都市電(N電)を見学し、その復活へのご苦労を伺います。博物館明治村は鐵道のみならず数多くの

歴史的建造物も保存しており、会員の皆さまにも必ずや参考になると思われます。ふるってご参加ください。詳細は追ってお知らせいたします。

開催日：2016年10月20日(木)～21日(金)

開催地：博物館明治村(愛知県犬山市宇内山1番地)

■日本鐵道保存協会 会報 2016年5月号 編集・発行/日本鐵道保存協会

事務局/〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新國際ビル9階903号 公益財団法人 交通協力会 気付

電話/03-6269-9808 FAX/03-6269-9809 RPSJ.tetsudo.hozon@gmail.com

※常勤者はおりませんので、電話での連絡は下記宛でお願いします。

米山淳一(事務局長)：080-5525-1571

菅 建彦(公益財団法人交通協力会理事長)：090-9101-3267 ホームページ <http://www.rpsj.jp/>